

第9回

英語教育を 考えるフォーラム in Okinawa

～沖縄の地域性・優位性 を活かした英語教育～

趣旨

グローバル化が急速に進展し、国際的な相互依存が一層深まっていく中で、子どもたちが21世紀を生き抜くためには国際共通語としての英語のコミュニケーション能力を身につけることが不可欠です。沖縄県では、国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築が求められ、本県の振興に貢献できる志を持った人材の育成や世界との交流ネットワークの構築、国際感覚を有した人材育成の形成が喫緊の課題です。本フォーラムは「英語立県沖縄」応援事業の一環として捉え、「沖縄の地域性・優位性を活かした英語教育」をコンセプトに本県の英語教育の改善・充実に資することを目的に開催いたします。

日時・場所

平成29年 **3月25日** (土)
10:00～17:10 (9:00 受付)
於：**沖縄女子短期大学**
(与那原町字東浜1番地)

基調講演 (13:35～)

① 演題：今、求められている授業改善の意義と背景～音声指導のActive learningを例に～

講師：田邊祐司氏

(専修大学文学部英語英米文学科教授・博士(教育学)
・元NHK基礎英語担当)

② 演題：Fostering international understanding ,cultivating a sense of global awareness(異文化理解を育む方策)

講師：ディリープ・チャンドラール氏

(沖縄大学副学長・言語学博士)

パネルディスカッション(15:45～)

○テーマ：新しい時代に即応した授業～特にアクティブラーニングを考慮した授業展開例

○パネリスト：新川美紀氏(浦添市立港川小学校)、鎌田洋子氏(北海道札幌清田高校、前札幌市立北野台中学校)、仲村昌康氏(普天間高校)、田邊祐司氏(専修大学)

○コーディネーター：金森強氏(文教大学)、下地敏洋氏(琉球大学)

○オブザーバー：御園和夫氏(関東学院大学)

公開授業：新しい時代に即応した授業実践例

By 田邊祐司氏(10:00～)

英語教育ワンポイントレッスン

By 金森強氏(11:25～)

実践発表：4技能統合型の授業実践例

By 鎌田洋子氏(13:00～)

申込方法

●対象：小学校から大学までの教員及び学校関係者や英語教育に関心がある方

●定員：200名 (先着順とします)

●参加費：500円 (但し学生は無料)

●申し込み方法：当会ホームページ申し込み書ファイル「<http://www.okieikai.com/>」をダウンロードし**3月10日**までに下記担当までメールに申込書を添付して送付して下さい

担当：大城桂子 (浦添商業高校) seminar@okieikai.com

Webサイト (<http://www.okieikai.com/>)からのお申し込みも受け付けています。

●主催：沖縄の英語教育を考える実行委員会 (主管：沖英会) ●共催：琉球新報社・(公財) 日本英語検定協会

●後援：沖縄県教育委員会・与那原町教育委員会・日本英語音声学会・沖縄県高等学校英語教育研究会・沖縄県中学校英語教育研究会・沖縄科学技術大学院大学・在沖米国総領事館・沖縄観光コンベンションビューロ・琉球放送・沖縄テレビ放送・琉球朝日放送・ラジオ沖縄 外

●特別協力：沖縄女子短期大学 ●協賛団体：旺文社・関東学院大学・関学サービス・教育測定研究所・IQ-Strategy・プロンテスト・国際発音協会・NPO法人沖縄語学センター・日経教育グループ・学校法人沖縄尚学・ヒューマングループ 外